大同特殊鋼のあゆみは、
「日本の電力王」とも呼ばれた福沢桃介が
木曽川で水力発電を始めたことから始まりました。
大同特殊鋼は、会社のルーツの地として、
南木曽の森の里親となり、
2.57ha の森を見守り続けています。

現在も木曽に残る桃介の足跡

【 桃 介 橋 】

大正 11 年、福沢桃介が木曽川の水力発電開発を行う際に資材運搬路として架けた木製の長尺橋。発電所完成後も地域住民に活用されてきました。昭和 50 年代以降老朽化が進んでいましたが、近代文化遺産として復元され、今も利用されています。

創業者 福沢桃介